

# 手洗いの時間・回数による効果

手洗いの方法	残存ウイルス数 (残存率)*
手洗いなし	約1,000,000個
流水で15秒手洗い	約10,000個 (約1%)
ハンドソープで10秒または30秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎ	数百個 (約0.01%)
ハンドソープで60秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎ	数十個 (約0.001%)
ハンドソープで10秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎを2回繰り返す	約数個 (約0.0001%)

\*:手洗いなしと比較した場合

出典

森功次他:感染症学雑誌、80:496-500,2006

<http://journal.kansensho.or.jp/Disp?pdf=0800050496.pdf>

# いつ手を洗うのか

## 日常生活において

- 嘔吐物を処理したり接触した後
- 乳幼児等の嘔吐や下痢便を処理した後
- 公衆トイレ使用後
- 用便後
- 帰宅後
- 廃棄物処理などの作業を行った後
- 調理前および調理中の必要時

## 食品取扱い施設

- 作業開始前
- 用便後
- 汚染作業区域から清潔区域に移動する前
- 食品に直接触れる作業にあたる直前
- 生の食肉類、魚介類、卵殻等微生物の汚染源となるおそれのある食品等に触れた後、他の食品や器具等に触れる前
- 配膳の前

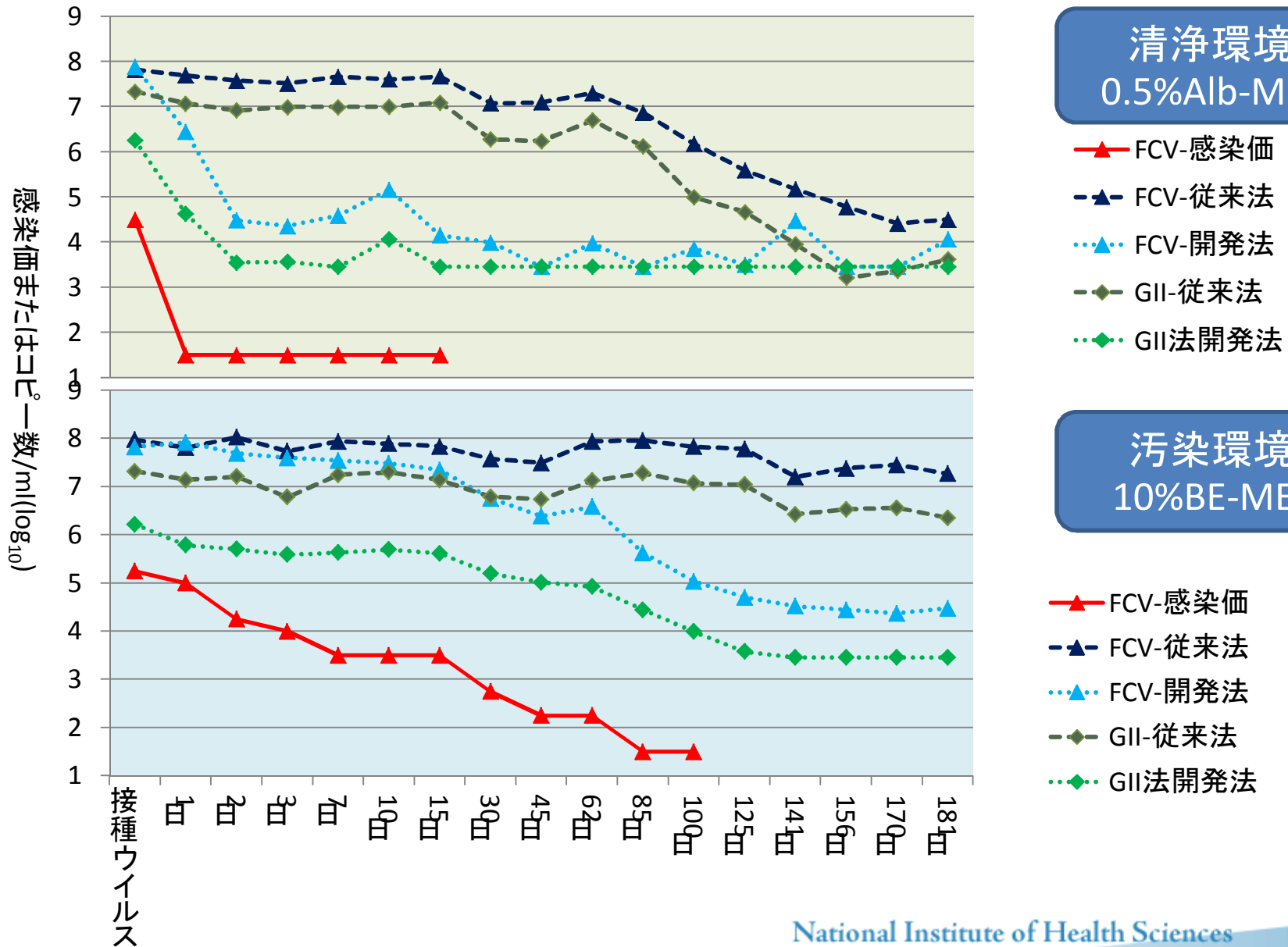
# 「清掃・洗淨」の意義

- 衛生的な環境を保つ
  - 一般細菌・食中毒菌の減少・増殖防止
- 汚染拡大防止(二次汚染防止)
- 衛生意識の向上

## ウイルス学的には？

- ウイルス量を減らす
- 有効な不活化
- ウイルス自体の生存性の低下

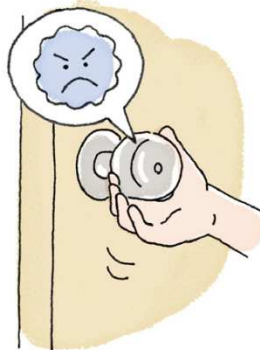
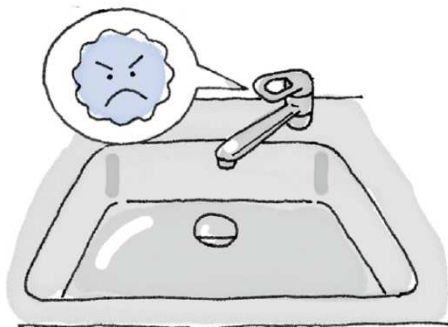
# 乾燥状態での生存性試験



# ノロウイルスの汚染が起こりやすい場所

- 手指が触るところ
- 糞便が汚染するところ
- 嘔吐物が汚染した場所

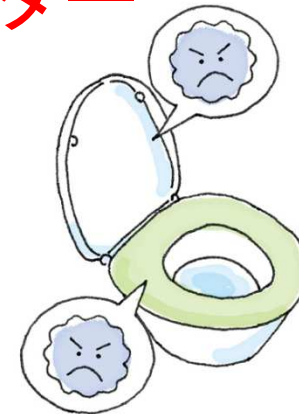
水道の蛇口 ドアノブ



洗面台



トイレの便座・フタ  
トイレットペーパー  
ホルダー





# 定期清掃は汚染リスクが低い順に



水道の蛇口、ドアノブ



トイレットペーパー保持器、流水器



便座のフタ(外)



スイッチ類



便座のフタ(内)



便座



便器の内部

**トイレの衛生管理も極めて最重要！！**

# 定期清掃の落とし穴

定期清掃



定期清掃



感染者

健康者

汚染後速やかに対応しないと、定期清掃前に次の利用者に汚染するリスクがある



個人、個人が汚染をさせないような使用法が大切

# 下痢時の対応

- 可能な限り汚染防止に注意して、排便
- 最大級に念入りな手洗い
- 必要に応じて、衣服の交換
- 下痢の申告
- (第三者による)迅速かつ適切な清掃・消毒



つらいけど、  
がまん、がまん



# 嘔吐時の行動マニュアル

食品取り扱い施設から出て(トイレで)...



嘔吐専用の容器に...

(専用の廃棄容器、ビニール袋)



ゴミ箱に...

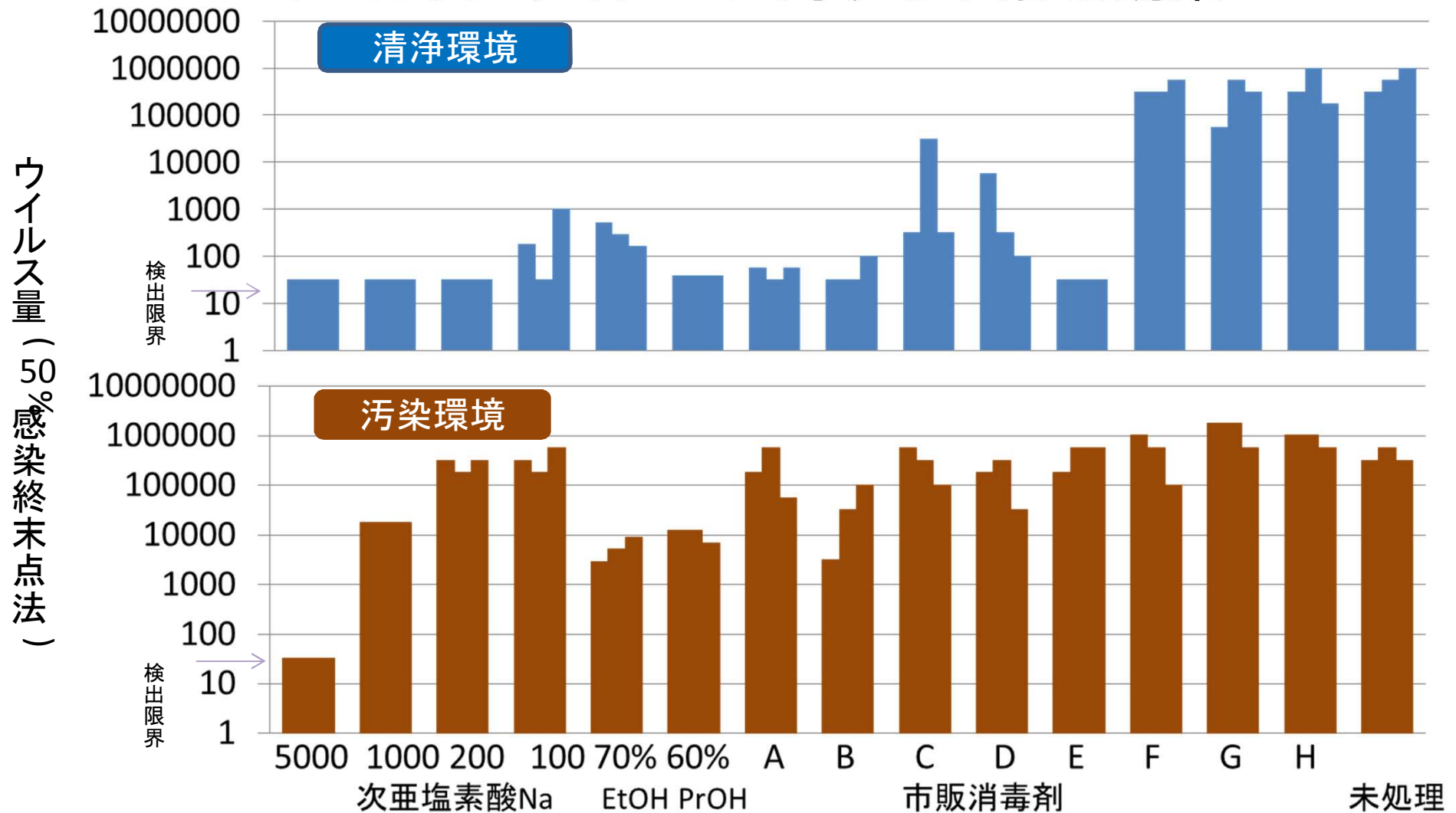


食品から可能な限り離れて...





# 次亜塩素酸ナトリウム、アルコール、市販消毒剤の ネコカリシウイルスに対する不活化効果

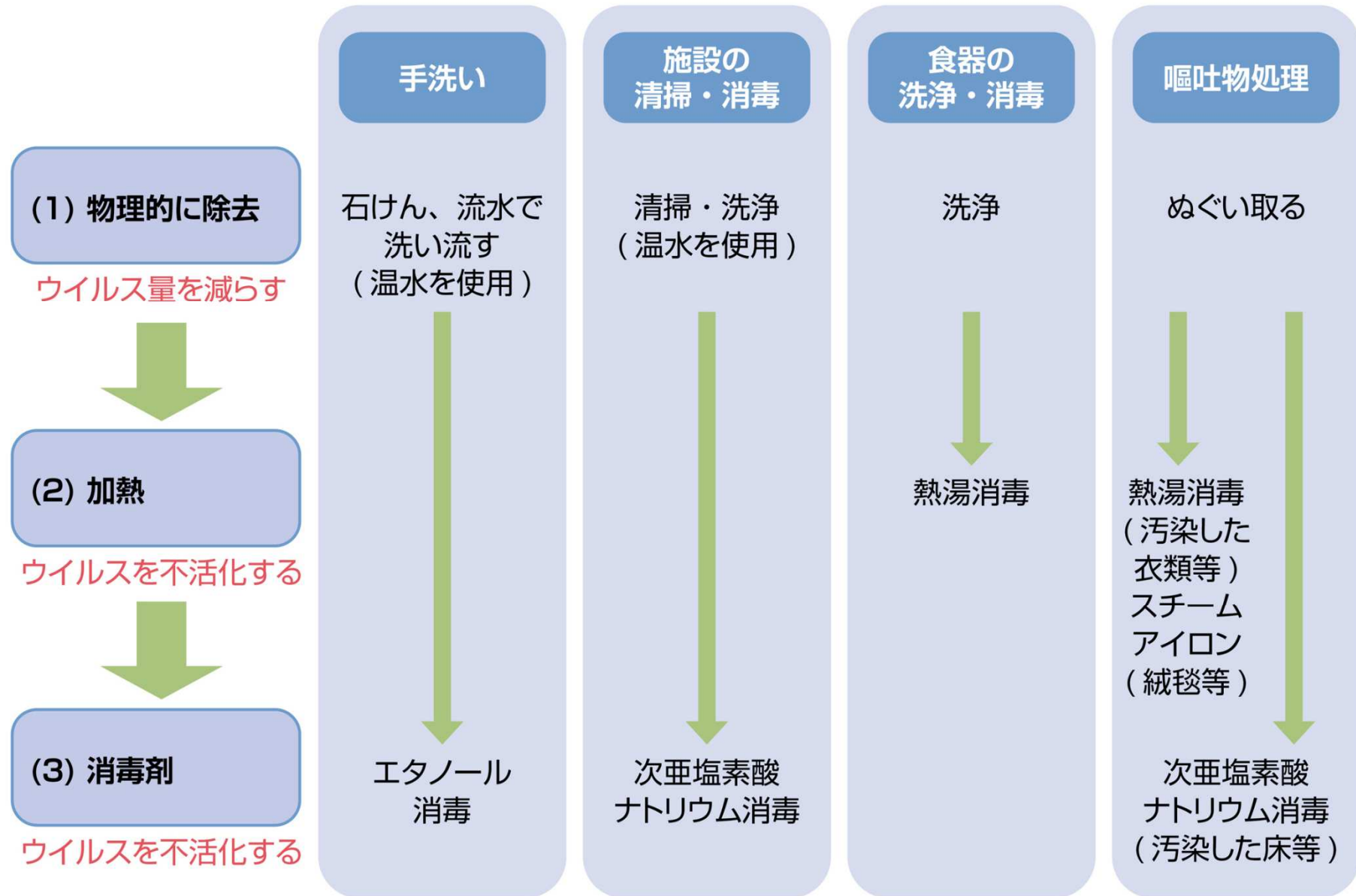


リン酸緩衝生理食塩水(清浄環境)またはアルブミンを含むリン酸緩衝生理食塩水(汚染環境)で希釈したウイルス液と各種消毒剤を混合し、3分間作用(薬剤の濃度は試験時の濃度、試験時のアルブミン濃度は5%)

# ノロウイルスの不活化に用いる消毒剤

- ふん便、嘔吐物等の付着物の処理  
1,000~5,000ppmの次亜塩素酸ナトリウム
- 施設の日常的清掃  
200ppmの次亜塩素酸ナトリウム  
アルコール類  
酸性電解水  
その他効果が確認された消毒剤(アルコール製剤等)
- 手洗い  
アルコール類  
酸性電解水  
ヨード化合物含有速乾性消毒剤  
その他効果が確認された消毒剤等
- うがい(口腔内洗浄)  
ヨード(ポピドンヨード)系うがい薬等

# ノロウイルスが汚染したら？



# 初期対応(汚染物理)が不十分だと・・・

最初の患者がノロウイルスによると思っていない⇒  
集団感染に至る主要因



完全に取り除かないと、

手やスリッパ(靴)を介して



瞬く間に、家十ウイルスばかり



# 嘔吐後の口腔内ケアにもご注意を

患者	ウイルス量 (コピー数/ うがい液10ml)	嘔吐後採取 までの時間
A	$4.7 \times 10^5$	20時間50分
B	$1.1 \times 10^4$	3時間
C	$2.2 \times 10^5$	6時間
D	$1.1 \times 10^6$	5時間30分
E	$3.1 \times 10^3$	1時間





# ノロウイルスと思われる症状（下痢・発熱・嘔吐など） がみられた場合

- 休養する（させる）。
- 体調を正しく、連絡する（させる）。
- 医療機関への受診を積極的に行う（わす）。
- ノロウイルス陽性となった場合は、その旨を連絡する（させる）。
- 周囲の者と協力して、二次感染を起こさないように努める（させる）。
- 家族のなかにいた場合は、感染防止に努め、責任者に連絡する（させる）。



# 健康管理

- 本人、家族および関係者の健康状態の把握

健康日誌(例)

12月	本人	家族	知人・隣人
1日(月)	○	○	
2日(火)	○	子供が嘔吐・下痢	
3日(水)	下痢		

- うがい・手洗いの励行

日頃から、うがい・手洗いを励行して、感染予防に努める。

- トイレ使用時の注意

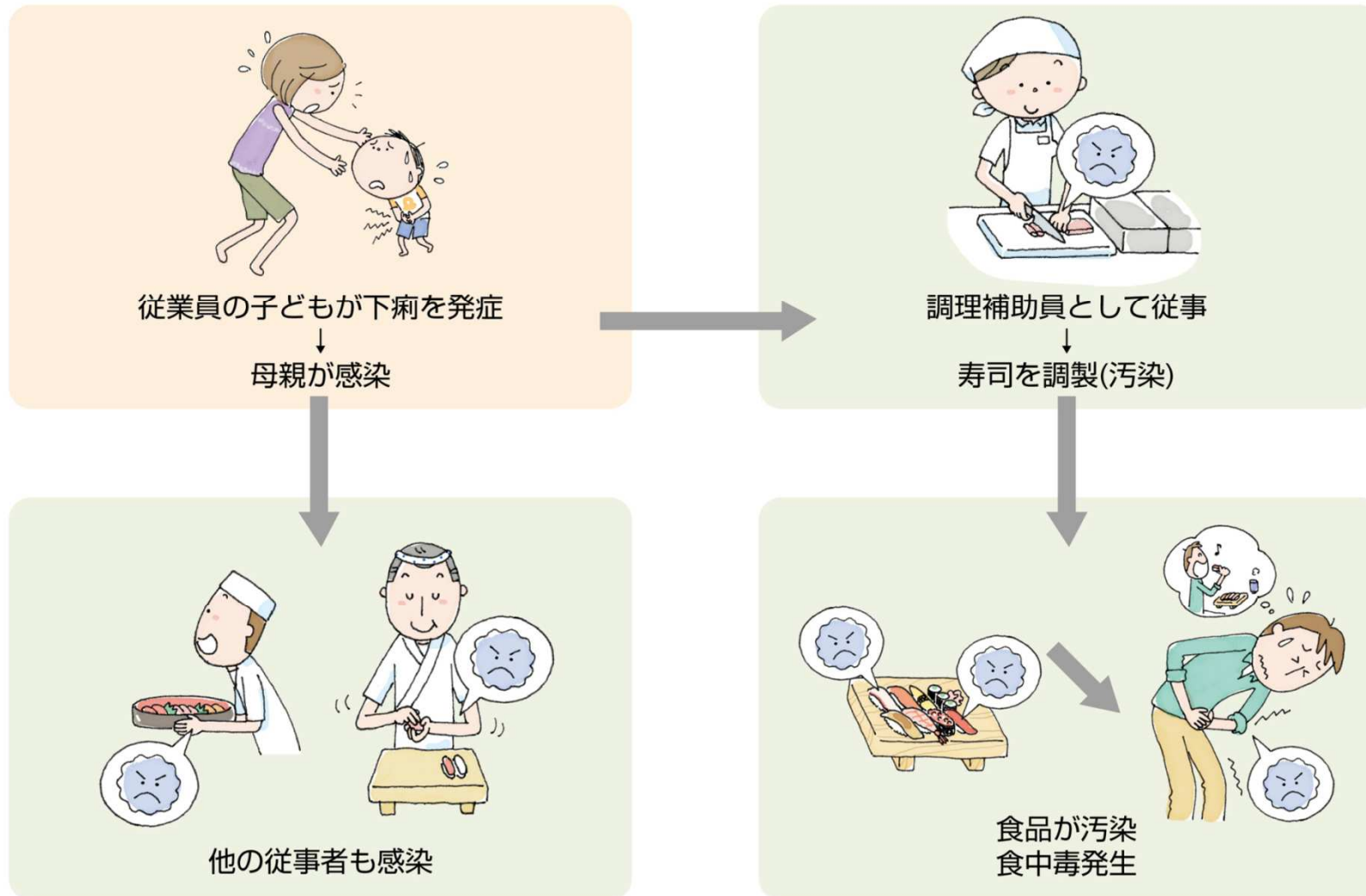
公衆トイレ等**不特定多数**の人が利用するトイレは、ノロウイルスが汚染しているリスクがある

- 食事に関する注意

二枚貝にはノロウイルスを含むリスクがある



# 子どもの手当から食中毒事件に



**家族等が感染したら、自分も感染したと思う**



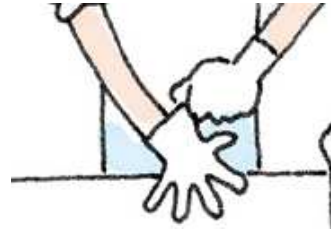
# 衛生管理ができています

手洗い



洗い落せた

手袋着用



安全  
付着していない

清掃  
消毒



消毒できた

汚染物処理



処理できた

はず、つもり

定期的、  
抜き打ち  
的な検証  
作業

